

地域計画

策定年月日	令和7年4月1日
更新年月日	()
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	山口市 (352039)
地域名 (地域内農業集落名)	仙在・引野・向井関地区 (仙在・引野・向井関)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	115 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	112 ha
② 田の面積	102 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	13 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

阿知須地域は瀬戸内海に面し、比較的温暖な気候で土地利用型作物の生産が盛んである。地域内では農業者の高齢化に伴い後継者不足が問題となっている。受け手の中心である法人でも高齢化に伴いオペレーターの不足、草刈作業等に従事可能な人員が減ってきている。今後は地域全体で受け手の農作業を軽減可能な仕組みをつくることが重要な課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当該地域においては、これまで比較的温暖な気候条件を利用した土地利用型の作物を栽培しており、今後も同様に作物を栽培していく方針である。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
当面の間、目標地図の区域において農業上の利用が行われることを基本とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	32.5	%	将来の目標とする集積率
			50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手の意向と営農状況に応じた適正な規模の農地の集約化のための利用調整・交換と利用権の再設定を推進するなど、地域に応じた取り組みを推進する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組 分散錯圃を解消し、作業の効率化、低コスト化、集積可能面積の上積みを図る。									
(2)農地中間管理機構の活用方法 地域計画の達成に向けて担い手への集積・集約化を進めるための農地中間管理機構を活用する担い手への農地集積にあたって、経営農地の位置を勘案し、最適な者への優先配分を進める。									
(3)基盤整備事業への取組 地域の実情を考慮しつつ、農地利用の効率化を図るため、所有者や担い手の意向も確認し、将来的な農地利用の在り方について検討する。									
(4)多様な経営体の確保・育成の取組 地域内の農業者が経営しやすい環境を整え、新規就農者を育成しつつ多様な経営体を呼び込むため経営体の二重確認(草刈り・水管理等)とそれに対応するための方策を検討する。									
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 遊休農地発生防止のため、農作業委託を含めた効率化を進める。									
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他
【選択した上記の取組内容】									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	L	水稻、小麦	11.7 ha	ha	水稻、小麦	11.7 ha	ha	L	
認農	K	水稻、飼料作物	5.9 ha	ha	水稻、飼料作物	5.9 ha	ha	K	
認農	M	水稻、飼料作物	1.4 ha	ha	水稻、飼料作物	1.4 ha	ha	M	
認農	C	水稻、飼料作物、小麦、大麦	9.6 ha	ha	水稻、飼料作物、小麦、大麦	9.6 ha	ha	C	
認農	B	水稻、飼料作物、小麦	2 ha	ha	水稻、飼料作物、小麦	2 ha	ha	B	
利用者	D	水稻、野菜	11 ha	ha	水稻、野菜	11 ha	ha	D	
認農	E	水稻、飼料作物	3.7 ha	ha	水稻、飼料作物	3.7 ha	ha	E	
認農	N	水稻、野菜	0.3 ha	ha	水稻、野菜	0.3 ha	ha	N	
認農	G	水稻、飼料作物、野菜	1.4 ha	ha	水稻、飼料作物、野菜	1.4 ha	ha	G	
認農	J	飼料作物	1.4 ha	ha	飼料作物	1.4 ha	ha	J	
利用者	F	水稻	4.1 ha	ha	水稻	4.1 ha	ha	F	
利用者	H	水稻	2.8 ha	ha	水稻	2.8 ha	ha	H	
利用者	A	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	A	
利用者	I	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	I	
			ha	ha		ha	ha		
計	14経営体		56.6 ha	0 ha		56.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2.「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。